

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

市民協働推進コーディネーター 進捗報告

Vol.12
2019年
4月

まちづくり・お宝バンク HP

コーディネーター：日高由紀

東山区の魅力を届ける“お茶会”と“京ことば”のコラボイベントが実現

お宝No.242 **お茶会と音楽のハーモニー**

お宝No.239 **京ことばの会**

2019年1月6日(日)に、東山区のカフェ・ギャラリー「きっさこ和東」にて、お茶会と音楽のハーモニー実行委員会が新春茶会を開催しました。

今回は、お正月をテーマに、同じくお宝バンク取組提案団体「京ことばの会」中島さよ子さんを講師にお招きし、参加者全員で大福茶とプレーンハーブの音楽を楽しんだ後に、京ことば講座と会オリジナル製作の「京ことばカルタ」を楽しみました。中島さんが紹介される京ことばやその歴史的背景のお話はとても分かりやすく語り口も魅力的で、参加者は「全く知らなかった～！」「うちのおばあさんが京ことばを使っていた。」「違う意味だと思っていた。」「京ことばならではのアクセントが難しい。標準語に毒されているのかも～。」等と、知っているようで知らなかった京ことばの世界に興味深々でした。

高校生の参加者や神戸からの参加者もいらっしや、様々な世代や地域の方が京ことばについて楽しく学ぶことができました。

最後に干支にちなんだお菓子とお抹茶をいただき、お茶会に参加しての感想などを話しました。

ざっくばらんな雰囲気でおもしろいプログラムを企画し、初対面の参加者がワイワイと楽しめる場を作るので、誰もが気軽に参加でき、お茶のお作法をよく知らなくても誰もが気軽に楽しめる会となっています。次回開催はお宝バンクサイトの注目記事でお知らせいたします。



新年のハーブ演奏と大福茶をいただいた後は、中島さんによる京ことば講座と京ことばカルタを楽しみました。



【イベント等の出展依頼】

- お茶会と音楽のハーモニー：teamusic2017@gmail.com（清水さん）、075-551-9253(松永さん)
- 京ことばの会：お宝バンク「ご意見・応援フォーム」からお問い合わせください。

地域の魅力発信に向けて「後院通り」看板が設置されました

お宝No.220 **一般社団法人京都映画芸術文化研究所**



四条大宮交差点の入り口に設置された新しい「後院通り」の看板

「後院通（こういんどおり）」は、千本三条から四条大宮にかけて斜めに走る道路です。立派な名前が付いていますが、「斜めの道」と呼ばれていたり、「千本通」や「大宮通」と勘違いをされていたり、そもそも通り名があることさえ知られていないことが分かり、後院通り近くに活動拠点をもつ（一社）京都映画芸術文化研究所の呼びかけで「後院通」を広く知ってもらうための活動を進めています。

2018年度は、後院通り知名度アップキャンペーンの初めの一步として、地域の方々に聞き取り調査をし、「看板が合ったほうがよい」という意見が集まったため、通り名の看板を設置してもらえるように、後院通り近隣地域のつながりづくりを通して賛同者を集め、区役所からもアドバイスをもらうなどして活動を進めてきました。

活動を通して「後院通を良くする会」という会を立ちあげた方を紹介していただくなど、これまで後院通りの環境整備に取り組んでくれた方ともつながり情報交換ができたことも収穫でした。

その他、後院通り境界の歴史を調べる活動については、土木事務所の方から「後院通りの東側に祠があるが、これは『六角獄舎』跡（牢屋敷）で、そういう祠があると、祟りがないように祠を取り壊さずに避けて工事をすることもある。そのような、まちの歴史を勉強していくのはおもしろいと思う。市電の歴史に詳しい方もいらっしやるので、必要があればご紹介もできます。」とコメントをいただきました。



後院通りにある市バス壬生操車場は、昔の市電車庫で、当初は「京都で一番モダンな建物」と言われていたそうです。ちなみに、中京区役所前の市電が廃止される際は、鉄のレールを薄くスライスして販売したところ好評だったそうです。壬生車庫前のレールは市電廃止の際に、そのまま埋められたという近隣住民の証言があるそうで、後院通りには市電レールのお宝が埋まっているかもしれませんね。

ユニバーサルデザイン京都フォーラム2019開催

お宝No.189 京都光華女子大学短期大学部ユニバーサルデザイン研究会

お宝No.222 フードバンク京都

2019年3月22日ウイングス京都にて、京都市主催「ユニバーサルデザイン京都フォーラム2019」（保健福祉局障害保健福祉推進室みやこユニバーサルデザイン推進担当）が開催されました。

開始前には、ロビーでフードドライブを実施し、参加者が持ち寄ってくださった食料品はフードバンク京都へ寄付されました。ご協力どうもありがとうございました！

フォーラム第1部では、京都光華女子大学短期大学部ライフデザイン学科教授で、京都光華女子大学短期大学部ユニバーサルデザイン研究会顧問の井川啓先生が、講演会「デザインの〇と×」に登壇されました。

第二部は、ユニバーサル上映「wonder ワンダー 君は太陽」が行なわれ、約200名の参加者が、ユニバーサルデザインについて学び・楽しむ時間となりました。



フォーラム前に実施したフードドライブでは、参加者が持ち寄った食料品が集められました。



第一部の講演では、井川先生がユニバーサルデザインの視点から、みんなにとって使いやすいデザインやユニバーサルデザインについての誤解について話題提供をされました。

ユニバーサル上映とは？

外国語がわからない方が、字幕や日本語吹替の助けを得て洋画を楽しむのと同じように、邦画にも日本語字幕と場面ごとの状況を説明する音声ガイドを付与することで、視覚や聴覚に障害のある方や高齢者等も含めて、みんなと一緒に映画を楽しむようにした上映方法のこと。一般的にはバリアフリー上映という。

※京都市では、ユニバーサル上映をより広く知っていただくために、催し等で映画の自主上映を行う民間の団体や個人に対して補助金を交付しています。

だいがキャンドルを開催しました



お宝No.229 だいがキャンドル

2019年3月9日に伏見区醍醐の折戸公園にて、今年もだいがキャンドルが開催されました。今年は醍醐地域のすべての保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校から協力をいただき、その他地域の多くの方々から集められたメッセージ付き紙コップが並べられた会場に集う有志がキャンドルを灯し、東日本大震災の犠牲者の追悼をしました。

今年は、例年よりも暖かくお天気に恵まれ、みなさん順調にろうそくを灯すことができたそうです。

だいがキャンドル終了後の翌日には会場の公園を清掃し、紙コップのお焚き上げを地元の長尾天満宮でされました。



【だいがキャンドルFacebookページ】

<https://www.facebook.com/daigocandle/>



“みんなごと”宣伝部 記事を掲載しています



活動の広報力の強化を目指して、まちづくり・お宝バンク取組提案者を対象に応募した「“みんなごと”宣伝部」が2019年1月と2月に開催されました。参加した提案団体が作成した活動紹介記事を、「みんなで作る京都」ホームページで順次公開しています。

自分の活動紹介記事を作成するのではなく、2団体1組になった取組提案者が、インタビューや写真撮影のノウハウについて学び、お互いの活動についてみんなに伝える技術を磨いて完成した記事です。ぜひご覧ください！

パネル展示&フードドライブを企画中

お宝No.268 セカンドハーベスト京都

伏見区を拠点に活動しているNPO法人セカンドハーベスト京都が、2019年3月に「龍谷大学深尾ゼミナールかんきょうと」のみなさんとコラボで「エ〜コと伏見2019」にてフードドライブを実施し、地域の方々へより広く活動を知っていただくために取り組みました。

2019年8月には、伏見区役所1階ロビーにて活動紹介パネル展示とフードドライブ実施の企画をしています。詳しい日時は、まちづくり・お宝バンク記事で追ってお知らせいたしますので、お中元などで常温保存可能な未開封の食品等を保管していただき、フードドライブの際にはぜひご提供ください。

